

# アジアで展示会出展

ピカソ美化学  
研究所社長 八木伸夫



①当社は3月期決算で、

通販市場を中心に受注は堅

調で、前年の12%増となっ

た。しかしながら原料費、

資材費、輸送費、エネルギー

コストの高騰により、生

産原価が大幅に上がってい

る。そこで以前より、工場

の生産性、ロス率の低減な

どを課題として継続して取

り組んでいる。下期に向け

ても「売れる商品開発」を

テーマに、差別化できる商

品を研究・営業でタッグを

組んで進めていく。そのた

めには研究所の充実が不可

欠で、今年3月に本社を新

めしている。

②拡大する中国マーケッ

トに向けた正規輸出に対応

するため、研究室内に備案

対応チームを編成し、上海

工場研究室と情報を有しな

がら法規制に対応してい

る。また、先ほどお話しし

た通り、工場の生産性の向

上、作業ロスの低減を機械

を導入することにやる少人

化、過去のデータに基づい

た詳細な生産量の計画、資

材購入量の決定、納品先を

考慮した生産工場の選定を

継続して実施している。

③国内工場では人員の確

大阪に移転し研究室を約1  
・8倍、銀座研究室も銀  
座オフィスに隣接するビル  
に移転し約2倍に拡充し、  
さらなる研究員の増員を進  
めている。

保が難しくなってきたお  
り、積極的に機械化を進め  
ていくことを工場に指示し  
ている。また、技能実習生

種認定を追加出来るよう化  
粧品工業会内のプロジェクト  
として進めている。この  
認定は化粧品業界において  
重要な事案となるため、賃

同じ協力していただける  
会社に、ぜひ声をかけてい  
ただきたい。  
④4月からの売上推移、  
現状の得意先との商談の進

行から考え前年の売上から  
2倍増を目標とした。中  
国への輸出事案件も国内、国  
外の会社を問わず、引き合  
いがあり、来期以降の売上  
にもなると思われるが、円安  
の影響もあり、輸出品が  
増えてくると考えている。  
7月はフスベガスで行われ  
ている化粧品展示会に出  
展、今後も9月の大阪での  
化粧品開発展をはじめアジ  
アでの展示会に出展を予定  
しており期待してほしい。

(原文のまま)